

家族経営協定でステップアップ

経営方針や、家族ひとりひとりの役割

働きやすい環境づくり、家族みんなで考えよう！

指示されるだけでなく、自分に仕事を任せて欲しい・・・
結婚(就農)する前は、給料をもらっていたのに・・・
そんな、家族みんなの想いについて考えたことがありますか？

○家族経営協定とは？

家族で農業の経営と生活について、話し合っ規則を決めたものです。
形式にこだわらず、家族みんなで話し合いながら、あなたの経営にピッタリの協定をつくりましょう。

○家族経営協定を要件とした制度

農業者年金の政策支援、農業改良資金の借り入れ、農業経営改善計画の共同申請、農林水産祭での夫婦連名表彰等があります。

○実際に締結した人からこんな声も聞かれます

- ★経営主の妻の声…「農業経営の役割分担がはっきりしたわ」
「家事・育児・介護にも男性の理解と協力があって嬉しいわ」
- ★後継者の声…「仕事にやりがいが出てきた」
- ★後継者の妻の声…「報酬があると励みになるわ」
- ★経営主…「一人で責任を背負わず、相談できるようになり、気が楽になった」

★まずは、話し合ってみましょう

- ・家族で話し合うなんて水くさいと思っているのは、あなただけで、本当は、みんな経営や生活についてもっと話し合いたいと思っているのではないのでしょうか。
- ・まず、それぞれの項目について現状を確認し、次に将来の目標を立て家族が共通認識のもとに取り組んでいくことが大切です。

★家族経営協定で取り決めること

- ・家族の話し合いから、必要な内容を盛り込んで我が家にあった協定書を作りましょう。

【項目の例】

- ・目的…農業経営・生活の目指す方向、協定を締結する目的
- ・意思決定の参画…家族経営の重要な意思決定に必ず参画し、協議すること
- ・経営の役割分担の実施…農業：経営部門、農業簿記記帳、労働日誌記帳、税申告、農業機械整備、作業分担
生活：家事(炊事・洗濯・掃除)、育児、介護

- ・収益分配の実施……………農業経営から生じる収益についての分配と支払方法
- ・就業条件……………就業時間、休日・休暇
- ・経営移譲……………移譲の時期・方法、退職金、移譲後の暮らし方
- ・後継者の育成…各種研修会への参加等
- ・その他……………福利厚生(家族旅行、リフレッシュ休暇の設定、趣味の充実、年金)、住まい方(住まい・食事・風呂、家計費の負担方法)
資産の相続、介護、協定の期間等

★家族経営協定を締結する手順

I 家族の話し合い

我が家の経営や、家族の就業、生活をめぐる課題や問題、家族の夢や意向を話し合いで明らかにします。

【内容】

経営方針・生活設計、所得の目標、経営計画、役割分担、労働報酬、休日、家事分担、老後の生活の備え、住まい方 等

II 対策を考える

問題点や課題の解決策を話し合い、どのような取り組みが必要か検討します。

- ・給料の支払いはどうするか？
- ・親の老後の生活はどうするか？
- ・経営方針はどうするか？
- ・役割分担はどうするか？
- ・経営移譲はどうするか？
- ・休日はどうするか？

III 協定の文書化

家族で合意した内容を文書化します。
協定書の(案)を作ってみます。

IV 協定を結ぶ

文書化した内容を確認し、調印します。
立会人は任意ですが、ルールを確かなもとし、実効性を高めるために第三者の立ち会いをおすすめします。

V 協定の実行と見直し

協定した内容が実行されているかチェックし、協定書の1年毎の更新、定期的な更新で、提供の確認と意識の向上を図ります。

【見直しが必要な時期】

家族の話し合いから、協定内容の修正や新たな項目が必要となったとき。

家族の構成員に変化があったとき。(後継者の就農、結婚等)
経営内容に変化があったとき。(新規作物の導入、規模拡大等)

取り決め内容や様式は、画一的に決まっているものではありません。
家族みんなの話し合いを通じ、必要なことからひとつずつ始めてみましょう。

[\(戻る\)](#)